

東邦大 第22号
平成20年10月1日

厚生労働大臣 殿

東京都大田区大森西5丁目21番16号
開設者学校法人 東邦大
理事長 伊藤元東邦大学医療センター大森病院
特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	107.45人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	202人	172人	351.8人	看護業務補助者	56人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	1人	3.9人	理学療法士	7人	臨床検査技師	88人
薬剤師	48人	1人	48.9人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保健師	214人	0人	214.0人	視能訓練士	4人	検査その他	0人
助産師	40人	1人	40.9人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	672人	16人	685.9人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	9人	3人	11.6人	栄養士	4人	その他の技術員	22人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	0人	事務職員	94人
管理栄養士	12人	1人	12.9人	診療放射線技師	44人	その他の職員	46人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位間で算出して記入すること。
 それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	848.7人	3人	851.7人
1日当たり平均外来患者数	2280.6人	35.5人	2316.1人
1日当たり平均調剤数	外来 399.3剤	入院 1011.4剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31燐一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熟診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	/人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	○人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	〇人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	24 人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	12 人
・多発性硬化症	16 人	・ウェグナー肉芽腫症	1 人
・重症筋無力症	22 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	68 人
・全身性エリテマトーデス	153 人	・多系統萎縮症	11 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人
・再生不良性貧血	24 人	・膿胞性乾癬	1 人
・サルコイドーシス	32 人	・広範脊柱管狭窄症	3 人
・筋萎縮性側索硬化症	25 人	・原発性胆汁性肝硬変	19 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	19 人	・重症急性膵炎	15 人
・特発性血小板減少性紫斑病	34 人	・特発性大腿骨頭壊死症	49 人
・結節性動脈周囲炎	13 人	・混合性結合組織病	21 人
・潰瘍性大腸炎	69 人	・原発性免疫不全症候群	3 人
・大動脈炎症候群	3 人	・特発性間質性肺炎	10 人
・ビュルガーラー病	15 人	・網膜色素変性症	16 人
・天疱瘡	4 人	・プリオント病	1 人
・脊髄小脳変性症	7 人	・原発性肺高血圧症	24 人
・クローン病	34 人	・神経線維腫症	3 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	30 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2 人
・パーキンソン病関連疾患	27 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4 人
・アミロイドーシス	1 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	29 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	0 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月8回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 67 例	剖検率 9.96 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	神経変性疾患に関する調査研究	岩崎 泰雄	神経内科	1,000	補助 厚生労働省
2	新規アポトーシス誘導薬の関節リウマチおよび悪性腫瘍治療への応用研究	川合 真一	膠原病科	700	補助 文部科学省
3	関節リウマチ及び線維筋痛症の寛解導入を目的とした医薬品の導入・開発及び評価に関する包括的研究班(分担)	川合 真一	膠原病科	1,400	補助 厚生労働省
4	特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスボリン+ステロイド療法並びにNアセチルシステイン療法に関する臨床研究	本間 栄	呼吸器内科	200	補助 厚生労働省
5	びまん性肺疾患に関する調査研究	本間 栄	呼吸器内科	400	補助 厚生労働省
6	インフルエンザ(H5N1)の死因となる急性肺障害(ARDS)の病態解析とモデル動物作製に関する研究	本間 栄	呼吸器内科	1,500	補助 厚生労働省
7	ANCA関連血管炎の本邦・欧州間での臨床疫学調査および診断薬と治療報開発に関する研究	本間 栄	呼吸器内科	100	補助 厚生労働省
8	特発性肺線維症合併肺癌におけるFDG-PETの有用性の検討	磯部和順	呼吸器内科	2,000	補助 財団法人喫煙科学研究財団
9	家庭用品に使用され、人の健康に関わる化学物質の試験	伊藤 正俊	皮膚科	536	委託 厚生労働省 生活衛生局
10	生殖補助技術(ART)が遺伝子発現におよぼす影響に関する検討	森田 峰人	産婦人科	2,000	補助 財団法人おぎやー献金基金
11	小児の造血障害疾患病像移行と残存造血能に関する基礎的研究	小原 明	小児科	500	補助 文部科学省
12	重症川崎病患者に対するステロイド初期投与の効果を検討する前方向的無作為比較試験の計画に関する研究	佐地 勉	小児科	10,000	補助 厚生労働省
13	血管炎治療のための人工トリクローナルグロブリン製剤の開発と安全性確保に関する研究	佐地 勉	小児科	700	補助 厚生労働省
14	小児等の特殊疾患群に対する医薬品の製剤改良その他の有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	佐地 勉	小児科	2,000	補助 厚生労働省
15	低出生体重児用ミルクと消化管機能に関する研究	宇賀 直樹	新生児科	1,600	委託 糧食研究会
16	ダイオキシンの乳幼児への影響その他の汚染実態の解明に関する研究	宇賀 直樹	新生児科	500	補助 厚生労働省
17	全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成	宇賀 直樹	新生児科	300	補助 厚生労働省
18	植え込み型又はインプラント医療機器不具合情報の収集および安全性情報の提供のあり方に関する研究	勝呂 徹	整形外科	8,500	補助 厚生労働省
19	ナビゲーション医療(手術ロボット)に関する調査研究	勝呂 徹	整形外科	6,000	補助 国立医薬品食品衛生研究所
20	ヒト精巣組織からのヒト精子幹細胞Spermatogonial stem cellの分離及び培養の試み	小林 秀行	泌尿器科	500	補助 鈴木泌尿器医学振興財団
21	心身症の診断・治療ガイドラインを用いた臨床的実証研究	坪井 康次	心療内科	60	補助 厚生労働省
22	統合失調症の前駆期における発症予防と介入可能性についての検討	水野 雅文	精神神経科	1,800	補助 文部科学省
23	精神障害者の早期発見、早期治療のための地域生活支援体制のあり方に関する調査及び機能化したリハビリ施設の試行的事業	水野 雅文	精神神経科	15,200	補助 厚生労働省
24	ワークステーション上でヒト内耳の3次元立体画像の観察	安田真美子	耳鼻咽喉科	1,000	補助 戸張奨学金
25	小児腎移植におけるシユフェノール酸フェチルの有効性、安全性の確認、用法・用量の検討、確立に関する研究(分担)	相川 厚	腎センター	1,000	補助 厚生労働省
26	国外における病気腎移植の研究に関する調査(分担)	相川 厚	腎センター	1,000	補助 厚生労働省
27	垂耳と他部位ケロイドにおける増殖メカニズム、アポトーシス発現の比較検討と病態解析	岡田 恵美	形成外科	1,000	補助 文部科学省
28	深在性真菌症と輸入真菌症に関する新しい検査法と抗真菌症の開発並びに病院因子の解明に向けたポストゲノムの基盤的研究	渋谷 和俊	病院病理部	3,000	補助 厚生労働省
29	難治性疾患克服研究事業	渋谷 和俊	病院病理部	3,500	補助 厚生労働省

67,996 計 29件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行なった研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、「補助の場合は「補助」に、委託の場合は「委託」に、印を引いて記入すること。

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
1	日本臨床外科学会雑誌；69（5）1175-1178,2007	妊娠を景気に発症した盲腸軸捻転症の1例	久保田喜久	総合診療科
2	治療学 41 (5) 529-531,2007	Fitz-Fugh-Curtis症候群の2症例	島田長人	総合診療科
3	Hepato-Gastroenterology 54:951-954,2007	Ten-second endoscopic breath test using a 20-mg dose of 13C-urea to detect Helico-bacter pylori infection.	瓜田純久	総合診療科
4	World J Gastroenterol 21(13):4219-4223,2007	Gastro-esophageal reflux disease symptoms are more common in general practice in Japan.	渡邊利泰	総合診療科
5	Dig Endosc 19(3):124-129,2007	Diffuse white deposits of the duodenum may suggest delayed glucose absorption.	瓜田純久	総合診療科
6	肝臓 48 (8) :353-362,2007	ALTが長期間正常にもかかわらず組織学的に高度の炎症像を認めたNASHを基盤に発症したと考えられる高齢女性肝硬変の4例	杉本元信	総合診療科
7	APMIS 115:1460-1465,2007	Retroperitoneal Lymphangiomyomatosis associated with endosalpingiosis.	福永	総合診療科
8	Hepato-Gastroenterology 54:1891-1894,2007	Endoscopic 13C-urea breath test for detection of Helicobacter pylori infection after partial gastrectomy.	瓜田純久	総合診療科
9	Hepato-Gastroenterology 55:4-7,2008	Saliva transit from the oral cavity to the esophagus in GERD.	日毛和夫	総合診療科
10	消化と吸収 30 : 35-38,2007	お茶飲料による酢酸吸収代謝の変化	瓜田純久	総合診療科
11	呼気生化学の進歩 10 : 21-24,2007	青森と石垣島における呼気中水素メタン濃度の変化について	渡邊利泰	総合診療科
12	Inflammopharmacol 2007;15:1-5	Salivary gland scintigraphy in gastro-esophageal reflux disease.	瓜田純久	総合診療科
13	Ther Res 28:632-635,2007	GERDにおける唾液腺分泌・動態の変化。モノサブリドによる唾液関連疾患治療の可能性	瓜田純久	総合診療科
14	Ther Res 28:841-845,2007	GERDにおける唾液腺機能の評価	瓜田純久	総合診療科
15	J Dairy Sci 2007;90:2630-2640	Effect of Bifidobacterium bifidum fermented milk on Helicobacter pylori and serum pepsinogen levels in humans.	三木一正	総合診療科
16	消化と吸収29 : 71-74,2007	アルコール飲用後に摂取した食事がアルコール吸収に及ぼす影響	瓜田純久	総合診療科
17	消化と吸収29 : 83-86,2007	健常人におけるグルコース及びフルクトース代謝の比較検討	瓜田純久	総合診療科
18	thyroid 17:1299-1303,2007	Graves'desease with intractable diarrhea,chylous ascites, and chylothorax:a case report.	廣井直樹	総合診療科
19	胆道21 : 623-629,2007	十二指腸乳頭部腫瘍の内視鏡的乳頭切除術早期合併症の検討	岡野直樹	消化器内科
20	消化器内視鏡19 : 1364-1368	安全な脾管ステンティング	五十嵐良典	消化器内科
21	消化器の臨床10 : 486-490	十二指腸乳頭部腫瘍の治療一内視鏡的切除術が、開腹的切除か、治療選択のdecision making	岡野直樹	消化器内科
22	World J Gastroenterol 2007 Jun 14;13(2):280-284	Twenty-four hour intra-arterial infusion of 5-fluourouracil,cisplatin, and leucovorin is more effective than 6-hour infusion for advanced hepatocellular carcinoma.	永井英成	消化器内科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
23	Cancer Chemoter Pharmacol Epub a head of print 2007,Sep26	Change of cytokines in cirrhosis patients with advanced hepaticellular carcinoma treated by intra-arterial chemotherapy.	永井英成	消化器内科
24	J Med Soc Tohoku 2007;54(1):21-28	Combined Intra-Arterial Low-dose 5-Fluorouracil,Cisplatin, and Leucovorin chemotherapy for Advanced hepatocellular Carcinoma.	永井英成	消化器内科
25	東邦医会誌 54 : 35-41.2007	発作性心房細動患者における肺静脈共通幹の携帯及び電局生理学的特徴	小林 健三郎	循環器内科
26	Ann Nucl Med 21:399-404.2007	Prediction of cardiac events in patients with dilated cardiomyopathy using ¹²³ I-BMIPP and ²⁰¹ Tl myocardial scintigraphy	井上有知	循環器内科
27	J Cardiol 50(6):363-370,2007	Significance of Percutaneous Transluminal Coronary Intervention for Chronic Total Occlusions Assessed as Non-Viable by Myocardial Scintigraphy.	新居秀郎	循環器内科
28	Eur J Nucl Med Mol Imaging 34:969-950,2007	Neuronal imaging using SPECT.	山科昌平	循環器内科
29	東邦医会誌 26 : 12-20,2007	16列 multidetector-rowCTと心電図同期真菌SPECTによる心機能評価の比較検討	鈴木健也	循環器内科
30	Circulation Journal 936-940,2007	Characteristics of Congestive Heart Failure Accompanied by Atrial Fibrillation with a Special Reference to Tachycardia-induced Cardiomyopathy Short title:AF Tachycardia-induced Cardiomyopathy	藤野紀之	循環器内科
31	Curr Opin Rheumatol 2007;19(3):238-45	Cyclosporine and tacrolimus for the treatment of rheumatoid arthritis.	北原加奈子	膠原病科
32	Mod,Rheumatol 2008(in Press)	Safety of long-term tacrolimus for rheumatoid arthritis: an open-label uncontrolled study in non-elderly patients.	川合眞一	膠原病科
33	Mod,Rheumatol 2008(in Press)	Clinical value of second and third generation assays of anti-cyclic citrullinated peptide antibodies in rheumatoid arthritis.	北原加奈子	膠原病科
34	Mod,Rheumatol 2008(in Press)	Safety profile of tacrolimus in patients with rheumatoid arthritis.	秋元貴美子	膠原病科
35	臨床と研究85 (2) 269-272,2007	剖検にて診断された血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の2例	長瀬大輔	血液腫瘍科
36	日化療会誌2007;55 : 225-229	固形癌治療後に発症した治療関連白血病/骨髄異形成症候群6例の経験	名取一彦	血液腫瘍科
37	臨床と研究84 1407-1409、 2007	ステロイド治療にて心機能の改善を認めた好酸球增多症候群の1例	石原 晋	血液腫瘍科
38	癌の臨床53395-8,2007臨	眼球突出を初発症状として診断された多発性骨髄腫の1例	名取一彦	血液腫瘍科
39	癌の臨床53 : 659-9,2007	悪性リンパ腫を含む3重癌症例に巢状糸球体硬化症を併発した1例	藤本吉紀	血液腫瘍科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
40	癌の臨床53:701-5,2007	造血器悪性腫瘍に合併した血球貧食症候群の4例	石原 晋	血液腫瘍科
41	肺癌47:97-103,2007	肺結核と原発性肺癌合併症例の臨床的特徴と問題点の分析	杉野圭史	呼吸器内科
42	日呼吸会誌45:377-381,2007	肺癌術後の再発診断におけるFDG-PETの有用性の検討	磯部和順	呼吸器内科
43	感染症誌81:261-267,2007	白血病に合併した侵襲性肺アスペルギルス症の臨床病理学的検討	杉野圭史	呼吸器内科
44	肺癌47:97-103,2007	ボリコナゾールによる抗利尿ホルモン分泌異常症候群を認めた肺アスペルギルス症の1例	磯部和順	呼吸器内科
45	肺癌47:849-854,2007	間質性肺炎合併肺癌における治療後急性増悪の検討	磯部和順	呼吸器内科
46	癌の臨床53:71-77,2007	肺転移にて再発した肺小細胞癌の1例	磯部和順	呼吸器内科
47	HEQ研究会会誌11(1)70-73	在宅医療と内視鏡治療 Percutaneous endoscopic duodenostomy 後の瘻孔部皮膚ケアに難渋した胃切除後の一例	鷲澤尚宏	消化器外科
48	手術 61(12)1791-1796,2007	下部直腸癌に対する経肛門的内括約筋切除による肛門温存術	船橋公彦	消化器外科
49	日本臨床外科学会雑誌;69	臍ポリープの2例	中村博志	小児外科
50	小児外科:39	急性虫垂炎と鑑別が困難なcarcinoid悪性リンパ腫	中村博志	小児外科
51	東邦医学会誌54:53-59,2007	中枢気道狭窄に対するステント療法	高木啓吾	呼吸器外科
52	気管支学29:306-308,2007	硬性気管支鏡	高木啓吾	呼吸器外科
53	EBM呼吸器疾患の治療412-415,2007	(EBM呼吸器疾患の治療) 気道狭窄に対するステント治療の問題点は?	高木啓吾	呼吸器外科
54	J Bronchology 14:286-288,2007	A case of rescured huge goiter with the temporal placement of a Dumon stent.	秦 美暢	呼吸器外科
55	気管支学29:221-226,2007	Dumon Y ステント留置の成績とその問題点	高木啓吾	呼吸器外科
56	Respirology 12:777-779,2007	Use of emergency rigid bronchoscopy to reduce tumour mass prior to surgical resection.	高木啓吾	呼吸器外科
57	J Med Soc Toho 2007,54:101-108	Accuracy and Limitations of Neuronavigator.	狩野利之	脳神経外科
58	J Jpn Soc Simulation Surg 15:95-101	Effects of head inclination on cerebral blood flow assessment using 3D-SSP.	狩野利之	脳神経外科
59	J Jpn Soc Simulation Surg 15:103-108	A pitfall in the statistical analysis of images using three-dimensional stereotactic surface projection (3D-SSP)	後藤昌三	脳神経外科
60	ICUとCCU 31:371-380,2007	脳指向型集中治療における脳循環評価の有用性	本多 満	脳神経外科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
61	CJ研究 29 : 33-41,2007	頭部外傷急性期における脳循環評価の有用性	本多 満	脳神経外科
62	肺の拡散能を反映するファクターの導入 29 : 51-62,2007	定量性に優れたキセノンCTの開発	佐瀬 茂	脳神経外科
63	外科系連合外会誌	USE of frame retractor for excisional biopsy of the breast	緒方秀昭	乳腺内分泌
64	JOccup Health 50:13-23,2008	Perception in Relation to a Potential Influenza Pandemic among healthcare Workers in Japan	Imai T	心臓血管外科
65	Asian Cardiovascular Thorac Ann 15:102-105,2007	Evaluation of bioprosthetic valve for small aortic root in elderly patients.	塙野則次	心臓血管外科
66	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Usefulness of Perioperative Blood Glucose Control in Patients Undergoing Coronary Artery Bypass Grafting.	藤井毅郎	心臓血管外科
67	Circulation Journal 71(11)1785-1790,2007	Efficacy and Limitations of Continuous Intravenous Epoprostenol Therapy for idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension in Japanese Children.	中山智孝	小児科
68	Circ J 72(1)127-133,2008	Implications of Mutations of Activin Receptor-like Kinase 1 Gene in Addition to Bone Morphogenetic protein Receptor II Gene (BMPR2) in Children With Pulmonary Arterial Hypertension.	Fujiwara M	小児科
69	日本小児循環器学会雑誌23 (1) 75-76,2007	肺高血圧症へのsildenafil 治療に関する使用実態調査結果	佐地 勉	小児科
70	小児内科39 (6) 894-896,2007	肺動脈性肺高血圧に対する新たな治療	松裏裕行	小児科
71	日本受精着床学会雑誌24 (1) 67-70	年齢別卵巣刺激法別臨床成績の検討	片桐由起子	産婦人科
72	産婦人科の実際56 (4) 673-676	インプリント遺伝子発現に変化を認めたART後IUGRの1例	片桐由起子	産婦人科
73	日本内視鏡外科学会雑誌12 (5) 529-534	囊胞性婦人科疾患 腹腔鏡下卵巣チオコレート囊胞摘出術	内出一郎	産婦人科
74	イト・メトローツ研究会会誌28 : 36-40	子宮内膜症・子宮腺筋症の発症・増殖に関する分子生物学的検討	梅沢雅和	産婦人科
75	日本産婦人科学会東京地方部会会誌56 (4) 515-519	細胞診陰性を繰り返した進行子宮頸癌合併妊娠の1例	三枝美智子	産婦人科
76	産科と婦人科74 (12) 1644-1651	子宮内膜 グリコデリンと子宮内膜機能	太田邦明	産婦人科
77	日本産婦人科学会東京地方部会会誌57 (1) 8-12	当科における全腹腔鏡下子宮全摘出術 (TLH)の現状と術式の工夫	中熊正仁	産婦人科
78	日本産婦人科学会東京地方部会会誌23 (1) 181-185	東邦大学内視鏡チームにおける腹腔鏡下子宮筋腫摘出術の後方視的検討：9年間668例からLMの適応の限界について	太田邦明	産婦人科
79	産科と婦人科74 (2) 240-243	子宮adenomatoid tumorの1例 文献的考察を加えて	森田あや子	産婦人科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
80	日本産婦人科学会東京地方部会会誌56 (3) 336-340	フォーリーカテーテルによる持続的圧迫止血にて止血し得た帝王切開瘢痕部妊娠の1例	大路斐子	産婦人科
81	日本産婦人科学会東京地方部会会誌56 (2) 145-147	子宮脱用リングペッサリーが腔内に一部埋没し外来で抜去困難であった1例	石原優子	産婦人科
82	Plast Reconstr Surg	Correction of Ectropion in Facial Paralysis Reply.	林 明照	形成外科
83	Plast Reconstr Surg	Are Keloids and Hypertrophic Scars Caused by Fungal Infection?	岡田恵美	形成外科
84	形成外科	Tissue expander法の標準的手技	丸山 優	形成外科
85	TEXT形成外科学	組織移植	丸山 優	形成外科
86	瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	ケロイドにおけるMMPsとTIMPsの発現異常	今泉りさ	形成外科
87	日本社会精神医学会雑誌 15 : 168-174,2007	統合失調症前駆症状の構造化面接 (SIPS)日本語版の信頼性の検討	水野雅文	精神神経科
88	精神科臨床サービス 7 : 133-139,2007	早期介入を目指したメンタルヘルス教育の実践	水野雅文	精神神経科
89	精神科臨床サービス 7 : 106-111,2007	ハイリスクグループへの対応 家族に精神疾患がある場合	水野雅文	精神神経科
90	Progree in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry 31:517-	Contribution of divergent thinking to community functioning in schizophrenia.	水野雅文	精神神経科
91	臨床精神医学 36 (4) 377-382,2007	早期診断と治療の根拠	水野雅文	精神神経科
92	精神医学 49 : 369-376,2007	右側頭葉・頭頂葉出血後、嫉妬妄想が出現した1例	水野雅文	精神神経科
93	Australian and New Zealand Journal of Psychiatry 42:159-165,2008	Association between duration of untreated psychosis , premorbid functioning ,and cognitive performance and the outcome of first-episode schizophrenia in Japanese patients.	水野雅文	精神神経科
94	精神医学 50 : 217-227,2008	精神疾患に対する早期介入	水野雅文	精神神経科
95	厚生労働省化学研究費補助金こころの健康科学研究事業 思春期精神病理の疫学と精神疾患の早期介入方策に関する 平成19年度総括分担研究報告書 41-42	インターネット等の通信手段による精神病理体験を有する思春期自動啓発計画	水野雅文	精神神経科
96	日本臨床皮膚科医会 近畿支部会報 23 : 15,2007	《心身症と皮膚疾患》心身症における抑うつの捉え方と治療	坪井耕次	心療内科
97	臨床精神医学 36 (6) 755-760,2007	移植医療とコンサルテーション・リエゾン精神医療一生体腎移植を中心にー	桂川修一	心療内科
98	不眠研究 2007 41-43,2007	睡眠時無呼吸症候群とうつ病の関連性について検討	菅 重博	心療内科
99	心身医学 47 (9) : 777-783,2007	環境と睡眠障害	端詰勝敬	心療内科
100	心身医学 47 (10) : 855-863,2007	SRQ-D II 31とSRQ-D II 15の信頼性・妥当性の検討	倉岡真澄佳	心療内科
101	心療内科12 (2) 144-148,2008	不安感が顕著であった摂食障害合併妊娠の一例	天野雄一	心療内科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
102	The XVI International Congress of the International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology 293-297,2007	Investigations concerning conditions of examined eating disorders from age of onset.	林 果林	心療内科
103	The XVI International Congress of the International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology 293-297,2007	Gender differences in the patients with medically unexplained symptoms.	端詰勝敬	心療内科
104	心療内科12 (2) 133-138,2008	Refeeding Syndromeによりせん妄を呈したと考えられる神経性無食欲症の一例	菅 さくら	心療内科
105	皮膚病診療30 : 19-22,2008.1	眼鏡による色素沈着型接触皮膚炎	橋本由紀	皮膚科
106	第108回 日本耳鼻咽喉科学会総会 2007.5/17	鼓索神経に併走した骨奇形の聴力改善手術と術前の3次元画像診断	安田 真美子	耳鼻咽喉科
107	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2007	内耳を3次元画像で観察する目的と方法	枝松秀雄	耳鼻咽喉科
108	The 9th Japan Conference in Oto-Rhino-Laryngology, Head and Neck Surgery	Three-dimensional Computed Tomography of Middle Ear for the Pre-and Post-operative Evaluation of Ossicular Chain.	安田 真美子	耳鼻咽喉科
109	眼科臨床医報100 : 675-677,2006	折れたインスリン自己注射針による眼瞼内異物の1例	木村正彦	眼科
110	眼科手術 21 : 91-96,2008	ハイドロビューTM眼内レンズ摘出交換手術を要した症例	渡辺 博	眼科
111	J Med Toho Univ 55:13-23,2008	Effectiveness of a 2% Tranilast Eye Drop Solution in a Rabbit Model of Glaucoma Filtering Surgery.	片山 雄治	眼科
112	J Cataract Refract Surg 34:80-86,2008	Calcification of Hydroview H60M intraocular lenses:Aqueous humor analysis and comparisons with other intraocular lens materials.	中目沙衣子	眼科
113	IOL&RS 22 : 73-75,2008	眼内レンズが原因と考えられたぶどう膜炎性緑内障	飯田裕太郎	眼科
114	東邦医学会誌 54 (1) 76-78,2007	当科における閉塞性動脈硬化症に対する切離断手術例の現状と問題点	山口央志	整形外科
115	理学療法学34 (2) 2007	理学療法施工中に肺血栓症を発症した人工股関節全置換術後の1症例	内 昌之	整形外科
116	東日本整災会誌19 : 181-188,2007	枕調整法を用いた肩こりの治療	山田朱織	整形外科
117	関東整災34 (2) 54,2007	陳旧性Hoffa骨折を伴った変形性膝関節症に対するTKAの1例	川上雅弘	整形外科
118	関節外科34 (2) 54,2007	高度骨欠損を伴う人工膝関節再置換術の1例	青木秀之	整形外科
119	Hip Joint33,236-240,2007	Oblong cup を用いた全人工股関置換術の治療経験	柴田孝史	整形外科
120	関東整形災害外科学会誌38 (6) 275-280,2007	肺腺癌による胸髄髓内転移と考える1例	飯田泰明	整形外科
121	JESMISS1(1)39-41,2007	神経根の展開とレトラクト手技	高橋 寛	整形外科
122	日本人工関節学会37 394-395,2007	FINER Total Knee System の臨床成績	宮崎芳安	整形外科

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
123	日本脊椎脊髄病学会18 (1) 229,2007	腰椎変形性疾患に対するthreaded fusion cage の使用経験	高橋 寛	整形外科
124	別冊整形外科 52 : 281- 285,2007	超高齢者における大腿骨近位骨折術後歩行能力の検討	奥秋 保	整形外科
125	別冊整形外科 52 : 302- 306,2007	【高齢者に対する私の治療法】骨粗鬆症に対する皮膚冷刺激低負荷運動	牛込伸行	整形外科
126	骨・関節・靭帯20 (5) 449- 454,2007	大腿菌肉内に発生したsolitary fibrous tumor の2症例	井上泰裕	整形外科
127	日本小児整形外科学会誌17 (1) 54-57,2008	小児化膿性脊椎炎の検討	飯田泰明	整形外科
128	臨床整形外科43 (2) 137- 141,2008	人工膝関節置換術ナビゲーションシステムと透視下動作解析の比較検討	宮崎芳安	整形外科
129	東日本整災会誌20 (1) : 74- 77,2008	経皮的レーザー椎間板減圧術再手術例の検討	香取 勘	整形外科
130	東日本整災会誌20 (1) : 65- 69,2008	化膿性脊椎炎の診断と治療－保存療法を中心に－	飯田泰明	整形外科
131	Biomaterials28(10) 1838- 1846,2007	Time-dependent Changes in Adhesive Force between Chondrocytes and Silk Fibroin Substrate.	山本慶太郎	整形外科
132	Neurologia medico-chirurgica47(4)147- 152,2007	Head Trauma in Female Professional Wrestlers.	野本 淳	整形外科
133	Mod Rheumatol18:15- 22,2008	Innreleukin-17 gene expression in patients with rheumatoid arthritis.	河野 美香	整形外科
134	東邦医学会誌55 (1) 3- 12,2008.1	Clinical outcome of additional wide resection for soft-tissue sarcoma.	土屋一晃	整形外科
135	Laser Therapy 17 (1) :29- 33、2008	Low Level Laser Therapy(LLLT)For Cerebral Paksy.	土屋一晃	整形外科
136	Laser Therapy 16:215- 218,2007	CASE REPORT IF 5 PATIENTS TREATMENT WITH 10 WATT SEMICONDUCTOR RULSELASER DEVICE	大国生幸	リハビリテーション科
137	日本レーザー治療学会誌 16 : 39-41,2007	当院における半導体レーザー治療の現状（急性期病院の半導体レーザー治療）	保坂 広	リハビリテーション科
138	日本私立医科大学理学療法会誌 25 : 45-48,2008	当院における肺切除症例の術前外来理学療法	中村綾子	リハビリテーション科
139	今日の移植 20 : 6	高用量ミゾリビン、シクロスボリン、スラロイドの併用療法で初期免疫抑制を行なった生体腎移植の2例	高須二郎	腎センター
140	泌尿器外科20	腎移植のトピックス生体腎移植 BK, EBウイルス	板橋淑裕	腎センター
141	腎移植 血管外科 №2,2007	拒絶反応の治療 Acute Tcell mediated rejection	相川 厚	腎センター
142	東邦医学会雑誌54 : 6	血液型不適合腎移植Accommodation と臨床成績	相川 厚	腎センター
143	成人病と生活習慣病 37 : 12	【移植として人工臓器の哲学 医療従事者へのメッセージ】宇和島病腎移植の問題点、厚生労働省調査 結果について	相川 厚	腎センター
144	今日の移植 20 : 6	エベロソムスを用いた心臓移植における免疫抑制療法	福島教偉	腎センター

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
145	慢性腎臓病患者の循環器合併症	慢性腎臓病患者の循環器合併症：腎移植と循環器合併症	酒井 謙	腎センター
146	Annual Review 2007	免疫抑制療法のTDM—タクロリムスとみゅフェノール酸モフェチルについて	相川 厚	腎センター
147	プレ救急ケア20 (4) 57-60,2007	東京都消防庁救急外傷基準確定に伴う効果の検討	吉原克則	救命救急センター
148	Jint Cardio 50,309-316,2007	生体吸収材料内血管平滑筋細胞の増殖解離的動的培養が耐える影響：動的培養前動的培養法	吉原克則	救命救急センター
149	Int J Urol	Epigenetics in assisted reproductive technology.	三浦一陽	泌尿器科
150	思春期学	先天性陰茎彎曲症	永尾光一	泌尿器科
151	東邦医学会誌	両側尿管欠席の2例	中島耕一	泌尿器科
152	臨床泌尿器科	精索靜脈瘤手術	中島耕一	泌尿器科
153	日本臨床	内分泌療法中の超高感度PSA測定の有用性	原 啓	泌尿器科
154	早期大腸癌 2008 Vol12	CT colonography による大腸腫瘍性病変の診断	白神伸之	放射線科
155	脊椎脊髄ジャーナル21,2008	脊髄のbalanced sequence MRI,MR myelography	堀 正明	放射線科
156	European Radiology 2008	Mean diffusivity, fractioand	堀 正明	放射線科
157	The Neuroradiology Journal 2007	Diffision Terer Imaging and 3D Treatoshcopy of the Cervical Spial Cad Using theELG-Contorl Live -Scan Techique.	堀 正明	放射線科
158	新医療34 (4) 2007	ガンマナイフ4Cによる最新治療と有用性	多湖正夫	放射線科
159	脊椎脊髄ジャーナル20, (7) 2007	定位放射線照射の放射線腫瘍の特性	多湖正夫	放射線科
160	臨床病理	血中クレアチニンとレスタチンC濃度比は腎後性腎不全の鑑別診断の一助になる	奥田優子	臨床検査
161	医学検査	血液学分析装置セルダイン サファイアの基本性能評価	石井利明	臨床検査
162	ラクトフェリン2007	ウシ由来ラクトフェリンはリンパ球を介して血中へ移行するか	石井利明	臨床検査
163	医学と薬学	白血球バイアルブル指数 (WVF)を利用したウェッジ法による細胞崩壊回避の一案	田中 学	臨床検査
164	日本外科系連合学会誌32 : 234-237,2007	尿管S状結腸吻合術24年後に発症した吻合部腺癌の一例	片桐敏雄	病院病理
165	日本呼吸器外科学会雑誌21 : 531-537,2007	術後経過からみた高悪性度肺神経内分泌腫瘍の病理組織学的検討	横内 幸	病院病理
166	Jpn J Infect Dis 60:33-39,2007	Hisutopathological Study On Experimental Endophthalmitis Induced by Blood stream Infection with Candida albicans.	大牟田純子	病院病理
167	日本外科学会誌21 (5) : 53-58,2007	10cm大の空洞を呈した細気管支肺胞上皮癌の1切除例	佐藤史朋	病院病理

2 論文発表等の実績

	発表誌名等	論題名	著者	所属名
168	日本呼吸器外科学会雑誌21：57-61,2007	超音波メスによる肺部分切除術後にnCPAPしようにより肺瘻を生じた一例	佐藤史朋	病院病理
169	ピオメリュー・ニュースレター7：8-9,2007	病理細胞診断材料を用いた真菌DNA抽出法について	篠崎稔	病院病理
170	厚生労働省化学研究費補助金新興・再考感染症研究事業「輸入真菌症等真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究」報告書：34-42,2007 (4)	病原糸状菌検出を目的としたFluorescence in situ hybridization(FISH)法の検討	篠崎稔	病院病理
171	厚生労働省化学研究費補助金「難知性疾患克服研究事業びまん性肺疾患に関する調査研究班」報告書：主任研究者貴和敏博126-33,2008 (3)	間質性肺炎(IP)およびIP合併肺癌組織におけるSUV値とGlut-1の対比	磯部和順	病院病理
172	Medical Technology 36:58-62,2008	FISH法を用いた細胞診検体内の病原真菌班別	篠崎稔	病院病理
173	Neural Regen Res 2:722-726,2008	Neural Regenerations Research.	張 澤安	病院病理
174	日本胆道学会雑誌 21 (5) : 709-712,2007	診断に苦慮した乳頭部腺腫の1例	五十嵐良典	病院病理
175	東邦医学会誌 55 (1) 45-54,2008	The Latest Guidelines for the Diagnosis and Treatment of Invasive Fungal Infection.	渋谷和俊	病院病理

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数する場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者 氏名	総務課 次長 鈴木 良昭
管理担当者 氏名	医療情報管理センター 次長 吉野 彰・総務課 小鍛治いづみ

		保管場所	分類方法
診療録に関する諸記録			
病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	医療情報管理センター	病院日誌は総務課	ターミナルデジット方式にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	診療科および総務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科および総務課	
	高度の医療の研修の実績	診療科および総務課	
	閲覧実績	医療情報管理センター	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部および医事課	
規則第9条の23条及び確保の11条の状況各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課および医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課および医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	分 類 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第1条の1各号に掲げる体制の状況	院内感染のための指針の策定状況 院内感染対策のための委員会の開催状況 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
	感染症の発生状況その他 の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策実施状況	感染症の発生状況その他 の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策実施状況	感染管理部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び該当手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策	臨床工学部及び中央放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲 覧 責 任 者 氏 名	総務課 次長 鈴木 良昭
閲 覧 担 当 者 氏 名	医療情報管理センター 次長 吉野 彰・総務課 小鶴治
閲 覧 の 求 め に 応 じ る 場 所	医療情報管理センター

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延 0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率 45.0 % 算 定 期 間 平成19年4月1日～平成20年3月31日	
算	A : 紹 介 患 者 の 数 14,306人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 13,445人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数 7,133人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数 64,465人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下
第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(4名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専任 (4)名 兼任 (12)名 ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1) 安全管理対策委員会・リスクマネジャーミーティング・部内会議の資料及び議事録の作成及び保存、その他会議の庶務に関すること 2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること 3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導に関すること 4) 医療安全に係わる連絡調整に関すること 5) 患者等からの苦情、相談に関する事項 6) 院内巡回 7) 安全管理研修会の企画・準備 8) その他医療安全対策の推進に関する事項 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 総則 <ul style="list-style-type: none"> 1. ①安全管理に関する基本的な考え方 ②安全管理に関する基本的方針 2. 用語の定義 3. 医療安全管理における従業者の責務 4. 事故防止策の基本的な考え方 5. 組織および体制 ①医療安全管理部の設置②安全管理対策委員会 ③医療事故調査委員会 ④診療情報の提供・診療記録の開示に関する要綱 ⑤院内感染対策委員会 6. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ①報告とその目的 ②報告に基づく情報収集 ③報告内容の検討等 7. 安全管理のためのマニュアルの整備 8. 医療安全管理のための研修 <ul style="list-style-type: none"> ①医療安全管理のための研修の実施 ②医療安全管理のための研修の実施方法 ③医療安全管理推進者、医療安全管理部職員の研修 ④研修医及び新規入職者に対して医療安全研修を行うこととする 9. 事故発生時の対応 ①救命措置の最優先 ②院長への報告など ③重大事故の当事者への対応 ④患者・家族への説明 10. 患者等からの苦情、相談への対応 <ul style="list-style-type: none"> ①患者等からの苦情、相談への基本的な考え方 ②相談窓口の設置および業務等 11. その他 ①本指針の見直し ②本指針の閲覧 	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) インシデント及びアクシデントの実態の把握をその背景要因の分析と評価 2) 安全を確保するための具体策の策定と実施 3) 安全を確保するためのマニュアル作成と励行 4) 事故に至るヒューマンファクターの認識の向上をはかるための院内研修の実施 5) 他の病院における医療事故情報の収集とその要約の院内広報 6) 事故防止策の定期的な点検の実施と改善及び検証 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院全体研修 (6/25~26 1,585名) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「これは聞きたい！大橋病院での医療安全に対する取り組みを知る」 ・ 「東邦大学医療センター大森病院が特定機能病院として維持し発展していくために」 ・ 「医療機器の安全使用について」 2) 第1回 インフェクションコントロールセミナー (7/11 実施 196名) 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 · 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) 承諾書関連 WG・CVC 運用マニュアル WG 立ち上げ 2) 医療安全マニュアル <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心静脈カテーテル挿入に関するガイドライン作成 ・ 毒薬・劇薬取り扱い要綱 (一部改訂) ・ 部位誤認防止マニュアル作成 ・ 採血痛による末梢神経損傷疑いの対応マニュアル作成 ・ 経鼻胃管・胃瘻・頸部食道瘻・小腸瘻の管理基準 4) 安全管理対策委員会として、院内ラウンドの定期化及び医療安全管理部内での不定期院内巡視の実施 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための体制の確保に係る措置	
① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指消毒及び感染予防策を徹底させる」 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 下記事項の審議及び承認 <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染予防の方策・実施・監視・指導に関すること。 2) 院内感染発生時の対応に関すること。 3) 職員の院内感染教育に関すること。 4) 感染管理部の運営、業務、活動に関すること。 5) その他院内感染予防及び対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 全職種を対象に手洗い、感染予防策、消毒法、各種ケアにおける感染対策、ゴミ分別、微生物検査、抗菌薬適正使用、各種耐性菌等の重要感染症、など院内感染対策上重要なと思われる事項について、講義・実技演習の双方による研修を行っている。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input type="radio"/>有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容： 各種サーベイランス、マニュアル整備、教育啓発活動を行い、その効果を各部署のラウンドを行うことにより確認。 その際発覚した問題点を抽出し、直接的に現場に指導。各部署のデータを集計し、更なる院内感染対策の向上につながるよう努めている。 また、院内感染発生時には直ちに原因調査し、対策を立案、実行。結果を評価し、次の発生の際には円滑に対策が遂行できるよう努めている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容	
1) 処方オーダー・医薬品チェック機能・医薬品情報	
2) 麻薬・向精神薬の管理	
3) ハイリスク薬・インスリン治療	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び該当手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ 業務の主な内容 :	
1) 業務手順書の周知	
2) 医薬品の管理	
3) 患者に対する投薬指示	
4) 患者に対する与薬	
5) 医薬品の安全使用に係る情報	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の設備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容 :	
1) 頭 3 文字が同一の薬剤に対し、入力ミス防止の為、入力画面及び処方箋に薬効併記	
2) ヒューマリンNとヒューマリンRの入力ミス防止のため、ヒューマリンN（皮下注）と表示	
3) “静注用グロブリン”をオーダーするところ、誤って“ガンマグロブリン筋注用”をオーダーする事例があつたため、“(筋) ガンマグロブリン”と表示	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input type="radio"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8回
・研修の主な内容	
・輸液・シリンジポンプの操作、注意事項についての講義および実技指導	
・人工呼吸器の操作についての講義および実技指導	
・人工呼吸器呼吸回路交換についての講義および実技指導	
・経皮的心肺補助装置の取扱についての講義	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 研修の主な内容	
・輸液・シリンジポンプの操作、注意事項についての講義および実技指導	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容	
・輸液・シリンジポンプ研修でのポンプ適応輸液セットの説明	